



JEM 編集委員会からのお願い

JEM 編集委員長 板東 義雄

Journal of Electron Microscopy (JEM) は、2011 年に創刊 60 年の節目を迎えました。JEM の国際的なステイタスをさらに向上させ、顕微鏡科学分野における日本のリーダーシップを国内外に強く印象づけていくために、本学会員の皆様のご協力が必要不可欠です。

IF 値の上昇へ向けて - JEM 論文の積極的な引用をお願いします！

2009 年に発表された JEM の Impact Factor (IF) 値は **1.047** (2007~2008 の集計値) でした。顕微鏡分野における上位 3 誌の IF 値は、以下の通りです。

1. Microscopy & Microanalysis : **3.035**
2. Histochemical cell biology : **3.021**
3. Ultramicroscopy : **2.067**

前回 2008 年での集計に引き続き、顕微鏡分野でのトップ IF 誌は米国顕微鏡学会が有する Microscopy & Microanalysis です。同誌の 2000 年における IF 値は (1.086) と、現在の JEM とほぼ同程度の水準でしたが、米国顕微鏡学会員の積極的な引用・投稿を図ることで、過去 10 年間に着実に IF 値を上げ続け現在の地位に至りました。

日本顕微鏡学会員の皆様におかれましては、JEM へ投稿する際にはもちろんのこと、他誌へ論文投稿される場合も JEM 論文を意識的・積極的に引用していただきたく思います。特に、今回の IF 値集計対象となる最近 2 年の論文 (2009~2010) を意識的に引用して頂くよう、お願い申し上げます。対象論文に関しては、以下の JEM ホームページにまとめてあります。

http://www.oxfordjournals.org/our_journals/jmicro/recent_papers.html

JEM への積極的な投稿をお願いします！

論文の価値判断基準として被引用数が大きなウエイトを占める現在、IF 値が少しでも高い雑誌へと論文投稿し、当該分野研究者の注目を引きつけたいと考えるのはごく自然な流れです。しかしながら、1~2 程度のわずかな IF 値の違いゆえに、日本人研究者による優れた論文が JEM ではなく、Microscopy & Microanalysis や Ultramicroscopy 等に投稿される機会が少くない状況を改善したいと切に願っております。

学会員の皆様には、是非 JEM への論文投稿を積極的に行っていただきたく、よろしく願い申し上げます。現在、JEM では毎号 1 編の割合で、優れた内容の論文を Editor's choice として選定し free-access*としております (*JEM 購読していない研究機関・研究者であっても自由にダウンロードすることができる)。

<http://jmicro.oxfordjournals.org/content/by/tag/choice>

free-access 論文は、既存 JEM 読者層を越えて注目を促すため、被引用機会の大幅な増加をもたらすでしょう。是非、自信作を JEM へ投稿下さい！